

第11回 BACHスクリーンコンサート 2022.4月

4月のテーマ フレデリック・ショパン

ポーランド出身の前期ロマン派音楽を代表する作曲家。



39年の短い生涯を、作曲とピアノ演奏で駆け抜けた。当時のヨーロッパにおいてピアニストとして、また作曲家として有名でした。

その作曲のほとんどをピアノ独奏曲が占め、ピアノの詩人とも呼ばれるように、様々な形式・美しい旋律・半音階的和声法（ノクターン、ピアノ・ソナタ、前奏曲、ポロネーズ、バラード、エチュード、ワルツ、マズルカ、幻想曲、スケルツォ、ロンド、即興曲、ピアノ協奏曲、・・・）などによってピアノの表現様式を拡大し、ピアノ音楽の新しい新境地を開いた。作曲数は200曲以上にも及ぶ。

1、ショパン解説 6分

ショパンの生涯と名曲を解説します。

2、曲 目

- (1) ワルツ華麗なる円舞曲 op34 1 中村絃子 5分
- (2) 幻想即興曲 横山幸雄 5分
- (3) ポロネーズ第6番（英雄） 小林愛実 6分
- (4) 前奏曲第15番（雨だれ） 牛田智太 6分
- (5) ノクターン第20番（遺作） アリス＝紗良・オット 5分
- (6) ノクターン第2番 久元祐子 4分

フジ子・ヘミング

- (7) エチュード 作品25-1
- (8) // // 10-5（黒鍵）
- (9) // // 10-3（別れの曲）
- (10) // // 10-12（革命）
- (11) ノクターン 第1番

反田恭平

2021年ショパンコンクール ファイナル

- (12) ピアノ協奏曲第1番 43分

ショパン国際ピアノコンクール

第一次世界大戦の終結を経てポーランドが一国家として独立してから 9 年後にあたる 1927 年に第 1 回大会を開催。現存する国際音楽ピアノコンクールの中では世界最古。5 年おきにショパンの命日である 10 月 17 日の前後 3 週間に開催される。1965 年第 7 回 で中村紘子が第 4 位、1970 年の第 8 回大会で内田光子が 2 位を、1900 年第 12 回で横山幸雄が第 3 位を受賞している。

2021 年第 18 回ショパンピアノコンクール

予備予選参加者 151 名

本大会出場者 87 名

二次予選へ 40 名 (日本人 14 名)

三次予選へ 20 名 (日本人 5 名)

ファイナル 10 名 (日本人 2 名)

入賞者と使用したピアノ

- 1 位: ブルース・リウ (ファツィオリ)
- 2 位: 反田恭平 (スタインウェイ), (カワイ)
- 3 位: マルティン・ガルシア (ファツィオリ)
- 4 位: 小林愛実 (スタインウェイ)
- 5 位: レオノラ・アルメリーニ (ファツィオリ)
- 6 位: ジェイ・ジェイ・ジュン・リー・ブイ (カワイ)

1 次予選～ファイナルまで採用されたピアノは 5 つです。

- ・スタインウェイ 479 (Steinway & Sons)
- ・スタインウェイ 300 (Steinway & Sons)
- ・ファツィオリ (FAZIOLI)
- ・カワイ (KAWAI)
- ・ヤマハ (YAMAHA)

FAZIOLI (ファツィオリ) イタリア

1944 年生まれのパオロ・ファツィオリが 1981 年 1 月、ファツィオリピアノフォルティ社を設立し、まだ創設 40 年余りの会社。

ファツィオリの最大の魅力は、明るい音色と派手さだと言われ、今大会では入賞者が最も多いピアノで注目を集めた。